

## [034] 中国文学論集表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/9907>

---

出版情報：中国文学論集. 34, 2005-12-25. 九州大学中国文学会  
バージョン：  
権利関係：

## 岩佐 昌暉教授 年譜略 (2005年9月現在)

- 1942年5月1日 島根県大原郡木次町に生まる
- 1961年3月 島根県立三刀屋高等学校卒業
- 1961年4月 大阪市立大学文学部入学
- 1966年3月 同上 中国学科卒業
- 1966年4月 大阪市立大学大学院文学研究科修士課程 (中国語中国文学専攻) 入学
- 1969年3月 同上 修了 (大阪市立大学文学修士)
- 1969年4月 同大学院同研究科博士課程 (中国文学専攻) 入学
- 1972年3月 同上 単位取得退学
- 1969年4月 龍谷大学非常勤講師 (～73年3月)
- 1973年3月 中国 北京第二外国語学院 専家 (～78年3月)
- 1978年4月 関西大学・大阪市立大学・同志社大学・神戸大学非常勤講師 (～80年3月)
- 1980年4月 九州大学助教授 (教養部)
- 1988年4月 九州大学助教授 (言語文化部に配置換)
- 1988年9月 九州大学教授 (言語文化部)
- 1993年4月 文部省在外研究員 (スタンフォード大学、香港中文大学、北京大学、～94年1月)
- 1994年4月 大学院比較社会文化研究科設置に伴い国際言語文化講座担当
- 1998年4月 九州大学評議員・言語文化部長 (～00年3月)
- 2000年4月 改組により大学院言語文化研究院に配置換、大学院比較社会文化学府国際言語文化講座担当
- 2000年4月 九州大学評議員・大学院言語文化研究院長 (～02年4月)
- 2002年5月 九州中国学会会長・理事長 (～05年5月)
- 2005年3月 九州大学辞職
- 2005年4月 熊本学園大学外国語学部・同大学院国際文化研究科教授
- 2005年5月 九州大学名誉教授

# 岩佐 昌暲教授 研究業績目録 (2005年 9月現在)

## I. 著 書

1. 『中国の少数民族と言語』288頁、光生館、1983年 7月
2. 『新時期文学概説』147頁、權歌書房、1992年10月
3. 言語文化研究叢書 『文革期の文学』、161頁、九州大学大学院言語文化研究院、2003年 3月
- 3 - B. 『文革期の文学』171頁、花書院、2004年 3月 (3 .の改訂版)
4. 『八〇年代中国の内景 その文学と社会 』、313頁、同学社、2005年 3月

## II. 編著・共編著

1. 『(詩刊) (1957 - 1964) 総目録・著訳者名索引』(主編) 178頁、中国書店、1997年12月
2. 『紅衛兵詩選』(劉福春と共編)、293頁、中国書店、2001年 3月
3. 『香港文学散歩』(盧瑋鑾編著 間ふさ子と共訳) 179頁、九州大学大学院比較社会文化学府、2005年 3月
4. 『中国現代文学と九州 異国・青春・戦争』(主編)、九州大学 KUARO 叢書 第4巻、九州大学出版会、242頁、2005年 4月

## III. 報告書

1. 『「文革期文学」の基礎的研究』(平成9～11年度科学研究費補助金(基盤C - 2) 研究成果報告書)、244頁、2001年 3月
2. 『文学創作の発想法に基づく中国現代文学史の研究』(平成12～14年度科学研究費補助金(基盤C - 2) 研究成果報告書) 71頁、2003年 3月
3. 『文革期文学雑誌目録(1)』(平成15～16年度科学研究費補助金(特定領域研究2) 研究成果中間報告書) 225頁、2004年 3月
4. 『中華人民共和国の非公然刊行物における文学資料の調査・研究』(平成15～16年度科学研究費補助金(特定領域研究2) 研究成果報告書) 332頁、2005年 3月

## IV. 単行書分担執筆

1. 『文芸講話』の歩み(朝日市民教室『造反する芸術』212 - 262頁、朝日新聞社、1972年 1月)

2. 老子 (『中国哲学を学ぶ人のために』122 - 129頁、世界思想社、1975年1月)
3. 日常性のなかの少数民族 (『「人民日報」読者来信』[中国研究センター編、編集委員] 101 - 112頁、日本評論社、1982年12月)
4. 現代中国における子ども (『世界子どもの歴史(第9巻)中国』[加地伸行、笠川直樹、平木康平、河田梯一と共著] 173 - 206頁、第一法規、1984年12月)
5. 「いじめ」と住宅難、最近の知識人問題 (『続「人民日報」読者来信』[中国研究センター編、編集委員]、41 - 84頁、日本評論社、1986年3月)
6. 毛沢東 中国革命の哲学者 (『中国思想史』(下)、449 - 458頁、ペリかん社、1987年5月)
7. 読劉心武的新作『登麗美』 (『日本学者中国文学研究叢書』第二輯、260 - 267頁、吉林教育出版社 [中国、長春]、1987年9月)
8. 関于張弦的短篇小説『記憶』 (『日本学者中国文学研究叢書 第6輯 新時期文学專輯』60 - 78頁、吉林教育出版社 [中国、長春]、1993年7月、何茂栄訳)
9. 文字改革論争 (『原典中国現代史(第5巻)思想・文学』140 - 147頁、岩波書店、1994年7月)
10. 日本国内漢語教育的問題 (陳学超主編『国際漢語論壇』325 - 329頁、西北大学出版社 [中国・西安]、1994年9月)
11. 三つの「大雁塔」詩 政治の時代から経済の時代へ向かう中国当代文学 (『わかりやすくおもしろい中国文学講義』208 - 219頁、中国書店、2002年5月)
12. 中国現代文学に見る女性像 「女性」「婦女」「女人」をキーワードとして (松村瑞子他『言語と文化のジェンダー』72 - 83頁、言語文化叢書 XV、九州大学大学院言語文化研究院、2005年3月)

## V. 論文

1. 「阿Q正伝」論 (大阪市立大学院生「中研ノート」11号、15 - 24頁、1967年12月)
2. <黄老>派の輪郭 道家学派成立史試論 (大阪大学文学部「懐徳」41号、95 - 109頁、1970年10月)
3. 中国古代人の思惟 語彙論的な試み (大阪市立大学院生「構想」VOL1. NO.1、38 - 53頁、1971年1月)
4. 現代中国の英雄の問題 (現代中国学会「現代中国」47号、56 - 64頁、1972年6月)
5. 一九七〇年代初期の中国におけるマルクス主義教育学習運動について (『中国哲学史の展望と模索』883 - 901頁、創文社、1976年11月)
6. 李学鰲について その伝記と詩 (上) (下)

岩佐昌暉教授研究業績目録

上：九州大学「文学論輯」27号、77 - 87頁、1981年3月

下：九州大学「文学論輯」28号 125 - 155頁、1982年3月

7. 批林批孔は虚妄であったか？（現代中国学会「現代中国学会報 - 1981年」28 - 30頁、1982年6月）
8. 文革期文学の一面 高紅十と『理想之歌』を中心に（神戸大学中文会「未名」1号、95 - 126頁、1982年2月）
9. <一分為二>と<合二而一>をめぐる論争 その展開・終焉・再開の過程（九州大学「文学論輯」29号、93 - 129頁、1983年3月）
10. 小説にみる社会主義の現在 最近の短編小説を素材にして（現代中国学会「現代中国」57号、16 - 22頁、1983年6月）
11. 張弦論ノート その初期作品と伝記（九州大学「文学論輯」30号、171 - 189頁、1984年8月）
12. 「朦朧詩」詩人・顧城について（『伊藤漱平教授退官記念・中国学論集』1027 - 1050頁、汲古書院、1986年3月）
13. <近代>を獲得しようとする詩人たち（『今天』覚え書き（『岡村繁教授退官記念論集・中国詩人論』941 - 970頁、汲古書院、1986年10月）
14. 朦朧詩の源流・雑誌『今天』について（九州大学「文学論輯」32号、115 - 147頁、1986年12月）
15. 朦朧詩以後の中国現代詩 <第三代詩人>について（中国研究所「季刊中国研究」8号、39 - 63頁、1987年9月）
16. 一九八〇年夏の<青春詩会>と朦朧詩批判（九州大学「文学論輯」33号、109 - 122頁、1987年12月）
- 16 - B. 一九八〇年夏の〈青春詩会〉和对朦朧詩的批判（西南師範大学中国新詩研究所「詩壇動態」第3期1 - 13頁、1988年10月、胡世梁訳）
17. 蒋光慈赴日考 「異郷与故国」を読む（九州大学言語文化部『文部省科学研究費研究成果報告書・近世より現代に至る来日中国文学者・思想家たちの日本文化受容に関する総合的研究』69 - 83頁、1989年3月）
18. 顧城の詩「一代人」を読む（九州大学「文学論輯」35号 161 - 184頁、1989年12月）
19. 張弦の短編小説『記憶』について（『樋口進先生古稀記念中国現代文学論集』335 - 354頁、中国書店、1990年4月）
20. 朦朧詩（『今天』）から徐敬亜まで（中国研究所「季刊中国研究」20号、1 - 24頁、1991年5月）
21. 「新生代」詩人・韓東の大衆像（『叙説舎「叙説」』、125 - 131頁、1991年8月）
22. 張弦『記憶』を読む（九州大学「文学論輯」37号 175 - 198頁、1992年3月）

23. 楊献珍と艾思奇 「思惟と存在の同一性」論争の周辺 (九州大学「文学論輯」38号、23 - 45頁、1993年3月)
24. 世紀末の毒 馮至の「蛇」を中心に (九州中国学会「九州中国学会報」31巻、59 - 80頁、1993年5月)
- 24 - B. 对馮至詩《蛇》的一種看法 (北京語言学院出版社「中国文化」第3号、141 - 145頁、1994年2月)
25. (今天)の詩人・威力について (九州大学「文学論輯」39号 73 - 98頁、1994年3月)
26. 旧世代詩人の新生 四川の詩人・梁上泉の詩をめぐって (九州大学中国文学会「中国文学論集」23号、93 - 112頁、1994年12月)
27. 紅衛兵運動の挽歌 郭路生の詩について  
(上) (神戸大学中文会「未名」13号、109 - 126頁、1995年3月)  
(下) (神戸大学中文会「未名」14号、83 - 106頁、1996年3月)
- 27 - B. 紅衛兵運動的挽歌 関于郭路生の詩 (藍文学会「藍 BLUE」総第10期、88 - 112頁、2003年4月)
28. 改革・開放と文学 「新時期文学」終焉論を中心に (日本現代中国学会「現代中国」第70号、76 - 89頁、1996年7月)
29. 関于中国現当代文学的創作模式 (ソウル大学中国語中国文学研究室「第9次 Seoul 大・九州大中国学国際学术交流集会発表論文集」55 - 63頁、1996年8月)
30. [研究ノート] 抗戦期の旧詩雑誌『民族詩壇』について (九州中国学会「九州中国学会報」第35巻、96 - 112頁、1997年5月)
31. 一隻被折断翅膀の鳥 (詩刊)の七年  
(上) (西南師範大学中国新詩研究所「中外詩歌研究」[中国・重慶] 1998年4期、63 - 66頁、1998年)  
(下) (西南師範大学中国新詩研究所「中外詩歌研究」[中国・重慶] 1999年1期、56 - 60頁、1999年)
32. 中国社会主义文化の解体 (アジア太平洋センター「アジア太平洋研究」第6号、16 - 27頁、2000年3月)
- 32 - B. The Dissolution of China's Socialist Culture: The State of Literature in the 1980s and 1990s (Asian-Pacific Center, *Journal of Asian-Pacific Studies*, No.6, pp19 - 34, Mar. 2000)
33. On the Light/Darkness Model (九州大学大学院比較社会文化学府『比較社会文化』第7巻、119 - 125頁、2001年3月)
34. 中国現代文学中的伝統創作思維模式 (南京大学中国現代文学研究中心編『中国現代文学伝統』88 - 99頁、人民文学出版社 [中国・北京]、2002年12月)

岩佐昌暉教授研究業績目録

35. 福岡滞在期の郭沫若文学の背景その他（九州大学大学院言語文化研究院『言語文化論究』NO.17、121 - 134頁、2003年2月）
- 35 - B. 若干郭沫若詩歌的写作背景（『詩探索』49・50輯合併号、天津社会科学院出版社 [中国・天津]、98 - 111頁、2003年5月）
- 35 - C. 若干郭沫若詩歌的写作背景（中国郭沫若研究会・四川省郭沫若研究学会編『郭沫若与百年中国學術文化回望』四川人民出版社 [中国・成都]、328 - 344頁、2005年7月）
36. 香港現代詩の一面 王良和とそのザボン連作について（山田敬三編『境外の文化 環太平洋圏の華人文学』432 - 452頁、汲古書院、2004年12月）
37. 香港当代文学の概略 劉登翰『香港文学史』をめぐって（山田敬三編『境外の文化 環太平洋圏の華人文学』726 - 757頁、汲古書院、2004年12月）
38. 文革期の地方文学雑誌について（九州大学大学院言語文化研究院『言語文化論究』NO.20、13 - 23頁、2005年1月）
39. “朦朧詩の発見” 「論争」から「批判」へ（九州大学大学院言語文化研究院言語研究会『言語科学』第40号、1 - 17頁、2005年3月）
40. 民主化運動期の非公然出版物の文学資料（沃土）を中心に（磯部彰編『東アジア出版文化の研究 - 学問領域として書誌・出版の研究を確立するために（平成12年度～16年度科学研究費補助金特定領域研究研究成果報告書・本冊1）』717 - 730頁、東北大学東北アジア研究センター、2005年3月）[ほかに本目録 - 37、 - 5を731 - 757頁に収録]
41. 馮乃超における日本象徴詩の受容 「蒼白」という詩語を手がかりに（香坂順一先生追悼記念論文集編集委員会編『香坂順一先生追悼記念論文集』243 - 258頁、光生館、2005年7月）
42. 虚構の風景 郭沫若早期詩歌《晴朝》的風景（安徽師範大学中国詩歌研究中心編『中国詩学研究』第4輯、210 - 214頁、人民文学出版社、2005年9月）

VI. 総説・解説

1. 阮籍小論（大安書店「大安」Vol.12、No.12、12 - 14頁、1966年12月）
2. 語彙論の可能性（朝日新聞社「アジア・レビュー」6号、187 - 188頁、1972年6月）
3. 中国文学の動向 政治の中の愛（中国研究センター「斉放・争鳴」27号、8 - 11頁、1981年4月）
4. 映画『苦恋』と白樺批判（「斉放・争鳴」28号、11 - 18頁、1981年7月）
5. 高曉声の作品 最近の「農村もの」小説について（「斉放・争鳴」30号、11 - 17頁、1982年1月）

6. チワン語 その紹介と漢語への影響 (九州大学「言語科学」17号、19 - 30頁、1982年3月)
7. チワン族の文学者たち (「斉放・争鳴」31号、10 - 15頁、1982年4月)
8. 『微波』と文協の建物 (神戸大学中文会「未名」3号、169 - 172頁、1983年1月)
9. 劉心武の新作『登麗美』を読む (「斉放・争鳴」35号、6 - 10頁、1983年8月)
10. 作家・航鷹の歩み (「斉放・争鳴」36号、10 - 16頁、1983年10月)
11. 蔣子龍小説の一面 (「斉放・争鳴」40号11 - 13、20頁、1984年8月)
12. 現代中国文学の人間像の変遷 (「斉放・争鳴」43号、9 - 12頁、1985年4月)
13. 「『今天』派の意味」、「農民群像」、「文革を描く」、「青春群像」(大修館書店『中国年鑑1987』別冊『中国新时期文学の十年』25頁、40 - 41頁、57頁、62 - 63頁、1987年6月)
14. 中国社会の内景 文学作品にみる現代中国 (「西日本新聞」連載)
  - 14 - 1. はじめに 近代化の中の心象風景を (1988年5月30日)
  - 14 - 2. 文革の傷 党の病巣をえぐり出す (1988年5月31日)
  - 14 - 3. 幽霊の町 民衆にとっての文革体験 (1988年6月1日)
  - 14 - 4. 変わる農民 勤儉蓄財型から消費型へ (1988年6月3日)
  - 14 - 5. 貧農の反乱 農村支配の構造と改革路線 (1988年6月4日)
  - 14 - 6. 農村企業 実業家という新しい英雄 (1988年6月6日)
  - 14 - 7. 女性差別 スローガンの陰の女たち (1988年6月7日)
  - 14 - 8. 平均主義 民衆の暗い情念をあばく (1988年6月8日)
  - 14 - 9. 陣痛 改革の風の中の労働者達 (1988年6月10日)
  - 14 - 10. 世代交代 新人類が問いかけるもの (1988年6月13日)
  - 14 - 11. 上流階級 復活した“資本家サロン” (1988年6月14日)
  - 14 - 12. 日常 何が「私」を疲れさせるか (1988年6月15日)
  - 14 - 13. 奴隷性 「阿Q」はまだ生きている? (1988年6月17日)
  - 14 - 14. 売春 負を直視する健康な精神 (1988年6月20日)
  - 14 - 15. 朦朧詩 (上) 「自分の目」で世界を見る (1988年6月21日)
  - 14 - 16. 朦朧詩 (下) 「日常」に向け感受性の矢 (1988年6月22日)
15. [インタビュー] 中国学生らの民主化運動 (日本社会党「社会新報」1989年6月2日)
16. [インタビュー] 中国の民主化要求運動と六月四日の血の弾圧について / 人民解放軍「発砲の論理」(「九州大学新聞」第825号、1989年6月25日)
17. 馮乃超と三木露風 (財団法人・霞城館「霞城館だより」84 - 5頁、1989年7月)
18. 中国を震撼させた三週間 胡耀邦の死と学生デモ (「斉放・争鳴」53号、1 - 8



岩佐昌暉教授研究業績目録

頁、1989年5月)

19. 天安門事件後の中国文学界（「西日本新聞」1990年6月2日）
20. [紹介] 阿寧「生命之軽与瓦罐之重」『上海文学』1990年4月（敍説舎「敍説」、160頁、1990年8月）
21. 復刊された『今天』（「斉放・争鳴」55号、9頁、1990年12月）
22. 『今天』の創刊者・芒克について（「文学論輯」36号、209 - 225頁、1990年12月）
23. [紹介] 喬典運「満票」『奔流』1985年3期（敍説舎「敍説」、145頁、1991年1月）
24. 解放後の中国少数民族の文字（博物館等建設推進九州会議「文明のクロスロード Museum Kyushu」10巻4号（第38号）、24 - 30頁、1991年9月）
25. [エッセイ] 中国研究センターの15年（博物館等建設推進九州会議「文明のクロスロード Museum Kyushu」12巻2号（第44号）、76 - 77頁、1993年5月）
26. [座談会] 絶望の告別 関于《霸王別姫》的座談（河北省文学芸術界連合会「文論報」305期、1994年1月）
27. 中国作家たちの八・一五（敍説舎「敍説」11号、48 - 55頁、1995年1月）
28. 中国文学、90年代の質的变化（「朝日新聞」1995年7月14日夕刊）
29. 人力車と文学（博物館等建設推進九州会議「文明のクロスロード Museum Kyushu」15巻3号（第57号）、18 - 25頁、1997年7月）
30. 市場経済下の中国文学（「西日本新聞」1998年10月17日）
31. 短編小説「鼠災」をめぐって
  1. 日本郭沫若研究会『郭沫若研究会報』創刊号、2 - 3頁、2003年5月
  2. 日本郭沫若研究会『郭沫若研究会報』第2号、7 - 10頁、2003年8月
32. 「私詩」としての初期郭沫若詩歌（日本郭沫若研究会『郭沫若研究会報』第3号、14 - 17頁、2003年12月）
33. 什麼是“文革時期文学” 一種辞書性質的定義（武継平訳）、藍文学会『藍BLUE』第13期、180 - 185頁、2004年1月）
34. 初期郭沫若詩「晴朝」の風景（日本郭沫若研究会『郭沫若研究会報』第4号、10 - 12頁、2004年5月）
35. 文革期の地方文芸雑誌について（『ナオ・デ・ラ・チーナ』8号、23 - 25頁、2005年1月）
36. 探討中国大陸「文革時期文学」（蔡長江訳）（中共研究雜誌社『中共研究』[台北]、39巻460期、90 - 101頁、2005年4月）
37. 中国大陸地下文学時代意義 - 虚心向歴史学習（中共研究雜誌社『中共研究』[台北]、39巻460期、103 - 104頁、2005年4月）

38. 關於《日本郭沫若研究会》(四川郭沫若研究学会『郭沫若学刊』2005年第3期(総第73期)、76 - 78頁、2005年9月)

VII. 辞典・年譜・目錄・索引

1. 「竹林の七賢」「老子」「王弼」「何晏」「清談」「李大釗」(講談社『現代世界百科大辞典』1、2、3卷、1971年10月)
2. 『毛沢東選集語彙事項総索引』[共編](毛沢東著作言語研究会編、采華書林、1 - 506頁、1972年10月)
3. 蔡元培年譜著作目録(付蔡元培書誌)(明清文学言語研究会「明清文学言語研究会報」14号、1 - 50頁、1972年12月)
4. 「老子」「何晏」「阮籍」「李大釗」等(講談社『大事典Desk』1983年5月)
5. 『句型匯編』(上・下)[共編](北京第二外国語学院日本語教研室、1 - 478頁、1976年12月)
6. 「整風運動」「陳垣」「陳伯達」「人民公社」「姚文元」「劉少奇」(研文出版『中国思想辞典』236頁、247頁、308頁、311 - 312頁、411頁、433頁、1984年1月)
7. 張弦年譜(1934 - 1983)初稿 張弦論ノート (九州大学「文学論輯」31号、165 - 191頁、1985年8月)
8. 朦朧詩年表(中国研究所「季刊中国研究」20号、163 - 174頁、1991年5月)
9. 朦朧詩文献案内(中国研究所「季刊中国研究」20号、175 - 183頁、1991年5月)
10. 中国文化史年表(角川書店『角川大辞源』2065 - 2083頁[特に近代・現代部分]1992年2月)
11. 「峨眉山」「黃大癡」「南京」(敍説舎「敍説」、特集：百科全書芥川龍之介、19 - 20頁、33 - 34頁、67 - 68頁、1992年7月)
12. 「艾思奇」「陳望道」(霞山会『近代中国人名辞典』2 - 3頁、96 - 97頁、1995年9月)
13. 「实践論」「矛盾論」「毛沢東」(岩波書店『岩波哲学・思想事典』667頁、1568頁、1590 - 1591頁、1998年3月)
14. 「何其芳」など21項目(岩波書店『現代中国事典』1999年5月)

VIII. 書評

1. 上海市出版革命組『徹底批判孔孟之道』(朝日新聞社「アジア・レビュー」10号、164 - 166頁、1972年6月)
2. 横松宗『魯迅の思想 民族の怨念』(「九州と中華人民共和国」75号、1982年4月20日)

#### 岩佐昌暉教授研究業績目録

3. 毛沢東思想学院『社会主義を考えるシンポジウム』(中国研究センター「斉放・争鳴」34号、6 - 7頁、1983年5月)
4. 高島俊男『声なき処に驚雷を聞く』『文学の自立を求めて』(中国研究所「中国研究月報」436号、40 - 41頁、1984年6月)
5. 鹿毛隆郎『中国ドラマチック』(中国研究センター「斉放・争鳴」46号、12 - 13頁、1986年4月)
6. ようやく出版された顧城詩集：顧城『黒眼睛』(東方書店「東方」74号、22 - 24頁、1987年5月)
7. 「中国という鏡」に映る自己像：井尻秀憲『現代アメリカ知識人と中国 知と情念のフロンティア』(「西日本新聞」1992年8月2日)
8. 中国文化の「なぜ」に挑む：合山究『雲烟の国』(東方書店「東方」151号、21頁、1993年10月)
9. 盧瑋鑾先生の2冊の本 『香港文縦』と『香港文学散歩』(同学社「トンシュエ」第10号、12 - 14頁、1995年9月)
10. 九州の地域性に根差したアジア経済研究の書：西村明『環黄海经济圈交流への視座 九州からの発信』(東方書店「東方」208号、20 - 23頁、1998年2月)
11. 『「今天」覆刻版』(内山書店「中国図書」108号、7 - 9頁、1998年3月)

#### Ⅷ. 中国語教育

1. やさしい読み物「王二小」(対訳・注釈)[大修館書店「中国語」連載]
  - 1 - 1. やさしい読み物「王二小」(282号、1983年7月)
  - 1 - 2. やさしい読み物「王二小」(283号、1983年8月)
  - 1 - 3. やさしい読み物「王二小」(284号、1983年9月)
2. 『経済中国語』(教科書：西村明と共著)白帝社、74頁 + 語句解説34頁、1987年2月
3. 李功達「青いスカーフ」(対訳)(大修館書店「中国語」331号、8 - 17頁、1987年7月)
4. 『学好中文』(教科書：劉三富、海沢州と共著、11 - 19課執筆)中国書店、108頁、1988年4月
5. 中国語入門講座[大修館書店「中国語」連載]
  - 5 - 1. shiを使った文(340号、1988年4月)
  - 5 - 2. 数のかぞえ方(341号、1988年5月)
  - 5 - 3. ものを数える - 量詞の使い方(342号、1988年6月)
  - 5 - 4. 体言述語文とその周辺(343号、1988年7月)
  - 5 - 5. 形容詞が述語になる文(344号、1988年8月)

- 5 - 6. 動詞を使った文 (345号、1988年9月)
- 5 - 7. 動詞と場所の表現 (346号、1988年10月)
- 5 - 8. 完了の表現 (347号、1988年11月)
- 5 - 9. 過去・過去の経験と進行持続の表現 (348号、1988年12月)
- 5 - 10. 助動詞と動詞の重ね形 (349号、1989年1月)
- 5 - 11. 結果補語と方向補語 (350号1989年2月、)
- 5 - 12. 可能補語・程度補語・数量補語 (351号、1989年3月)
- 6. ステップ中国語 (荀春生と共著) [大修館書店「中国語」連載]
  - 6 - 1. 副詞のいろいろ (352号、1989年4月)
  - 6 - 2. 介詞のいろいろ (353号、1989年5月)
  - 6 - 3. 形容詞 述語と定語になる場合 (354号、1989年6月)
  - 6 - 4. 状語について (355号、1989年7月)、
  - 6 - 5. 接続詞いろいろ (356号、1989年8月)
  - 6 - 6. 接続詞いろいろ 複文と関連詞 (357号、1989年9月)
  - 6 - 7. “把”を使った文 (358号、1989年10月)
  - 6 - 8. 受け身の表現 (359号、1989年11月)
  - 6 - 9. 使役表現 (360号、1989年12月)
  - 6 - 10. 比較の表現 (361号、1990年1月)
  - 6 - 11. 疑問代詞の用法 (362号1990年2月)
  - 6 - 12. 疑問代詞の用法 (363号1990年3月)
- 7. [問与答] “藍天上”? “藍天下”? (荀春生と共著、大修館書店「中国語」358号、29頁、1989年10月)
- 8. 『中国語入門講座』 [文法書：荀春生と共著] 權歌書房、1 - 290頁、1991年4月
- 9. 一般教育における中国語教育の現状と問題点 [口頭報告] (第39回九州地区大学一般教育協議会、1990年10月、福岡大学)
- 9 - B. 一般教育における中国語教育の現状と問題点 (中国当代文学読書会「中国語文研究」2号、1 - 8頁、1991年6月)
- 10. 『中国経済を読む』 (教科書：西村明、河村誠司と共著) 白帝社、1 - 86頁 + 語句解説17頁、1993年3月
- 11. 中国語辞書 何を選ぶか (内山書店「中国語」400号、3 - 5頁、1993年5月)
- 12. [ビデオ教材] 『北京之行』 (中国国家对外漢語教学領導辦公室企画、中央音像教材出版社、1994年8月 [教材翻訳担当、文法解説者として出演])
- 13. 『よくわかる中国語 初級』 (教科書：梁愛蘭と共著) 光生館、1 - 103頁、1995年3月
- 14. 『中国語初級テキスト 起飛 [ちーふいゐい]』 (教科書：笠征、海沢州と共著)

岩佐昌暉教授研究業績目録

中国書店、1 - 105頁、1995年3月

15. 『初級漢語入門』(教科書：荀春生、日下翠、西山猛と共著) 中国書店、1 - 50頁、1997年4月
16. 『修学旅行のための サポート中国語』(会話テキスト：張曉衛、日下翠、西岡民子と共著) 同学社、1 - 63頁、1997年8月
17. 『初級漢語入門 2』(教科書：荀春生、日下翠、西山猛と共著) 中国書店、1 - 37頁、1997年10月
18. [報告] 中国語研修旅行について (九州大学大学教育研究センター「九州大学教育情報」第1号、5 - 6頁、1997年10月)
19. 『初級 漢語入門』(教科書：荀春生、日下翠、西山猛と共著) 中国書店、1 - 90頁、1998年4月
20. 『実力中国語』(教科書：荀春生、日下翠、西山猛と共著) 中国書店、1 - 95頁、1999年3月
21. 『何を学ばばいいかわかる 音からの中国語』(教科書：原瀬隆司、何秋平と共著) 光生館、1 - 125頁、2000年3月
22. 精読 李国文「悵惘」(対訳・注釈)
  - 22 - 1. 精読「悵惘」(内山書店「中国語」487号、60 - 62頁、2000年8月)
  - 22 - 2. 精読「悵惘」(内山書店「中国語」488号、66 - 68頁、2000年9月)
  - 22 - 3. 精読「悵惘」(内山書店「中国語」489号、66 - 68頁、2000年10月)
  - 22 - 4. 精読「悵惘」(内山書店「中国語」490号、62 - 64頁、2000年11月)

X. 翻 訳

1. 「赤い海原」ほか90項目 (陳東林ら主編、加々美光行監修 『中国文化大革命事典』 中国書店、349 - 431頁、1997年1月)
2. 謝冕「文学に見る中国「改革・開放」の深層 現代詩の人間像を中心に」(アジア太平洋センター「A P C アジア太平洋研究」創刊号、62 - 66頁、1997年3月)
3. 郭沫若「燃える石炭 祖国を思う」(日本郭沫若研究会『郭沫若研究会報』第2号、13 - 14頁、2003年8月)
4. 王良和「柚子」[解題：香港の詩人王良和について ザボン連作と彼の詩壇的地位] (九州大学大学院言語文化研究院『言語文化論究』NO.19、179 - 191頁、2004年2月)
5. 王家平「紅衛兵新聞とその輪郭」[溝口喜郎と共訳] (九州大学言語文化研究院言語研究会『言語科学』39号、115 - 130頁、2004年3月)
6. 謝冕「新中国と共に歌う 建国三十年詩歌創作の回顧 (その1)」(熊本学園

大学『文学・言語学論集』第11巻2号、第12巻1号合併号、137 158頁、2005年6月)

XI. 口頭発表

A. 国内学会報告

1. 現代中国の英雄の問題 (現代中国学会第21回全国学術大会、1971年11月6日、学習院大学)
2. 批林批孔は虚妄であったか? (現代中国学会第29回全国学術大会、1980年10月19日、徳山大学)
3. 小説に見る社会主義の現在 最近の短編小説を素材にして (日本現代中国学会第32回全国学術大会、1982年10月24日、専修大学)
4. 朦朧詩について (第24回大阪市立大学中文学会、1989年6月17日、大阪市立大学)
5. 小説における現代中国の開放政策 (第2回日本平和学会九州研究集会、1989年12月、福岡県議員会館)
6. 中国現代文学の発想について (平成7年度九州中国学会大会、1995年5月21日、福岡教育大学)
7. <暗黒/光明>モデルについて (日本現代中国学会関西西部会、1995年6月24日、神戸大学)
8. 改革・開放と文学 - 新时期文学終焉論をめぐって (日本現代中国学会第44回全国学術大会、1995年10月22日、大阪大学)
9. 出発期の馮至 『緑衣人』を読む (平成13年度九州中国学会大会、2001年5月19日、琉球大学)
10. 文学は「東アジア世界」を共有できるか? (第10回東アジア学会、2001年9月8日、西南学院大学)
11. 中華人民共和国の非公然出版物について (文科省特定領域研究「東アジア出版文化の研究」第5回研究集会、2003年6月28日、九州大学国際研究交流プラザ)
12. <暗黒と光明>というキーワード 中国現代文学を貫くもの (第50回大阪市立大学中文学会、2003年7月5日、大阪市立大学)
13. 文革期の地方文芸雑誌について (文科省特定領域研究「東アジア出版文化の研究」第6回研究集会、2004年6月26日、那覇市共済会館八汐荘)
14. 民主化運動期の非公然出版物における文学資料 (文科省特定領域研究「東アジア出版文化の研究」下京学会、2004年10月31日、キャンパスプラザ京都)

B. 国際学会報告

1. 關於文革後的中国詩壇的情況 (第1次 Seoul大・九州大中国学国際學術交流集会、1988年8月2日、ソウル大学)
2. 日本国内漢語教育的問題 (第4回国際漢語教學研討会、1993年8月11 - 15日、北京、香山飯店)
3. 对馮至詩《蛇》的一種看法 ('93華文詩歌国際學術研討会、1993年9月5日 - 8日、重慶、西南師範学院)
4. 關於中国当代詩歌的分期問題 ('93中国現代詩學討論会、1993年9月18日、北京、文采閣)
5. 關於<暗黒 / 光明>模式 (中国現代詩国際學術討論会、1995年9月27日 - 9月29日、オランダ・ライデン大学)
6. 關於中国现代文学的創作模式 (第9次 Seoul大・九州大中国学国際學術交流集会、1996年8月2日、ソウル大学)
7. 中国現代文学に見るアジアの価値観 (日韓東アジア学会合同会議、1998年8月29日 - 30日、韓国安東：安東文化会館)
8. 中国現代文学中的傳統創作思維模式 (“中国現代文学傳統” 国際學術研討会、2001年7月10日 - 13日、南京大学中国現代文学研究中心)
9. 浅谈“蒼白” (中国新詩理論国際學術研討会、2001年12月15日 - 17日、首都師範大学・ライデン大学・カリフォルニア大学サンディゴ校共催、北京香山飯店)
10. 若干郭沫若詩歌的写作背景 (郭沫若与百年中国學術文化国際論壇、2002年11月20 - 22日、中国社会科学院)
11. 中国現代文学中的傳統創作思維模式 (中国現代文学座談会、2004年3月23日、香港中文大学中文系・香港文学研究中心共催、香港中文大学中文系) [招待講演]
12. 決裂与和解 - 对從紅衛兵詩歌到朦朧詩中的“媽媽”題材作品的考察 (文化大革命時期中国詩歌暨样板戲国際學術研討会、2004年5月28日、韓国釜山：東亜大学教授会館)
13. 日本郭沫若研究会的活動 (“郭沫若与中国知識分子在民族解放戰爭中的文化選択” 国際學術討論会、2005年8月15日、青島大学)
14. 文革期詩歌研究中的一些問題 (中国新詩一百年国際研討会、2005年8月20日、北京大学中文系・同詩歌中心・首都師範大学中文系・同中国詩歌研究中心共催、北京達園賓館)